



瀬高地区もち米部会 令和7年産ヒヨクモチ栽培こよみ

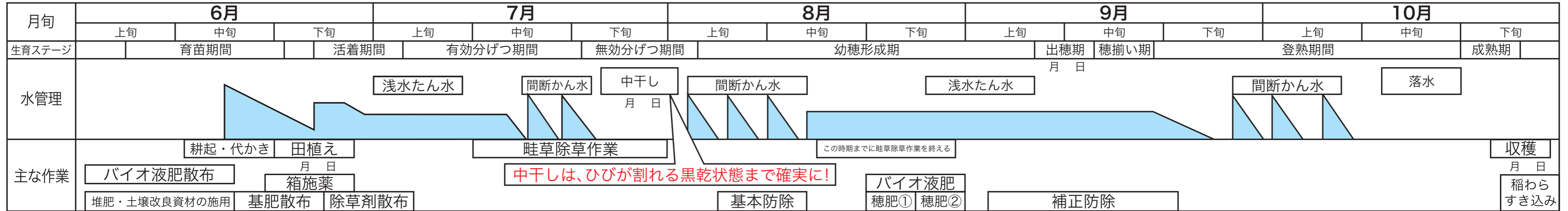
令和6年12月
南筑後農業協同組合
南筑後普及指導センター

◇品種特性

出穂期	成熟期	稈長	玄米千粒重	耐倒伏性	いもち病耐病性
9月6日	10月26日	69cm	21.5g	極強	やや弱

◇品質向上対策

1. 田回りを徹底し田んぼの中をよく観察しましょう。 2. 土づくりを行い地力を増強しよう。 3. 田植え適期 6月25日以降 4. 落水時期 収穫5~7日前



収量・品質向上のポイントは…「土づくり！」
(※まずは、**稲わら・麦わらのすき込み**から)

- ケイ酸は、稲体を強化し、倒状や病虫害の発生を抑制します。
 - 鉄分は、根を守り、根腐れを防ぎます。
 - 腐植は、土づくりの基本です。地力を向上させ、肥料の効果を安定させます。
- ◇土壌改良資材: 散布日 月 日 ~ 月 日

土壌改良資材	10a当りの使用量	主要成分【保証成分】
ミネラルG	200kg	苦土3~4%・ケイ酸18~20% 鉄分13~18%・アルカリ分40~43%
土力の素	45kg	りん酸5%・カリ6%・苦土7% ケイ酸20%・アルカリ分15%
オイスターミネラル	60kg	ケイ酸17%・アルカリ分45%

◇育苗培土: 散布日 月 日 ~ 月 日

使用用途	資材	使用量
稚苗用	筑後化成培土	1箱3.5kg程度
稚苗用	みのりエース	1箱3.5kg程度

◇施肥基準【基肥 月 日 ~ 穂肥① 月 日 ~ 穂肥② 月 日 ~】

体系	使用用途	資材	成分%	使用量/10a
分施	基肥	ちくごのめぐみ444	14-14-14	35kg
	穂肥1回目	化成肥料	16-0-16	20kg
	穂肥2回目	化成肥料	16-0-16	15kg
一発	基肥一発	晩生一発エムコート44	22-12-10	30~40kg
分施	バイオ液肥	みのるん	0.26-0.07-0.05	4t+2t

- ※バイオ液肥を使用した場合は、「土力の素」等で土壌改良に積極的に取り組む。
- ※地力及び生育状況によって、使用量の範囲内で加減してください。
- ※基肥一発肥料については、気候によって効果がばらつきます。
- ※地力の高いほ場では、基肥を5~10kg減肥し、穂肥2回施用を励行してください。

- ※スタークル剤の使用については、出穂時期~開花時期での散布はミツバチに悪影響をおよぼしますので使用しないでください。
- ※なお、近隣にハウスや野菜等の作付けがある場合は、数日前に防除する旨を伝え、薬剤の飛散が無いように防除してください。

◇箱施薬: 散布日 月 日 ~ 月 日

資材名	使用量	使用時期	備考
防人(さきもり)箱粒剤	1箱50g	は種時(覆土前)~移植当日	いもち病・ウンカ類・コブノメイガ等

◇除草剤: 散布日 月 日 ~ 月 日

資材名	10a当りの使用量	使用時期	備考
プライオリティ1キロ粒剤	1kg(1袋)	移植時~ノビエ3.5葉期	田植同時散布の場合は、田植終了後に必ず5cmの水位まで溜める。
プライオリティフロアブル	500ml(1本)	移植直後~ノビエ3.5葉期	水口施用可能。使用前に容器をよく振って使用する。
プライオリティジャンボ	250g(小包装10個)	移植直後~ノビエ3.5葉期	やや深めの湛水(5cm)にして水の出入りを止め散布する。

※処理時期が遅いと効果が低くなりますので、使用時期以内で早めの散布を心がけてください。

◇ジャンボタニシ対策: 散布日 月 日 ~ 月 日

資材名	10a当りの使用量	使用時期	備考
スクミノン	1~4kg	収穫60日前まで	ジャンボタニシ被害多発田の場合に散布する。

◇本田の病虫害防除

体系	時期	基本防除 (対象病虫害)	補正防除 (対象病虫害)
		8月上中旬	9月中下旬
粉剤		ダブルカットバリダトレボン粉剤3DL 3~4kg/10a (いもち病、紋枯病、ウンカ類、カメムシ類、コブノメイガ)【穂揃い期まで】	スタークル粉剤DL 3kg/10a (ウンカ類、カメムシ類)【収穫7日前まで】
液剤		オーケストラロムダンモンカットエア (ウンカ類、コブノメイガ、紋枯病)【収穫21日前まで】 100ℓ/10a 1000倍 0.8ℓ/10a 8倍(無人航空機散布)	スタークル顆粒水溶剤 100ℓ/10a 2000倍(カメムシ類) 3000倍(ウンカ類) 【収穫7日前まで】
豆つぶ剤		ワイドパンチ豆つぶ 250g/10a (いもち病、紋枯病、ウンカ類、カメムシ類)【収穫35日前まで】	スタークル豆つぶ 250~500g/10a(ウンカ類)、250g/10a(カメムシ類) 【収穫7日前まで】

- ※葉いもち多発の場合は、コラトップジャンボPを施用。【初発20日前~初発時に小包装10~13個/10a】
- ※紋枯病多発の場合は、モンガリット粒剤を施用。【3~4kg/10a(収穫30日前まで)】
- ※スタークル豆つぶは、湛水(水を全体に3cm溜めて)散布する。その後、水が無くなるまで水は足さないようにする。